

3月9日 四旬節第1主日

## 誘惑に打ち克つ

マタイによる福音書 4章 1～11節

<sup>1</sup> さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、<sup>2</sup> 霊に導かれて荒れ野に行かれた。<sup>3</sup> そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。<sup>4</sup> すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」<sup>5</sup> イエスはお答えになった。

『人はパンだけで生きるものではない。

神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』

と書いてある。」<sup>6</sup> 次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、<sup>7</sup> 言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。

『神があなたのために天使たちに命じると、

あなたの足が石に打ち当たることのないように、

天使たちは手であなたを支える』

と書いてある。」<sup>8</sup> イエスは、『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。<sup>9</sup> 更に、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、<sup>10</sup> 「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。<sup>11</sup> すると、イエスは言われた。「退け、サタン。

『あなたの神である主を拝み、

ただ主に仕えよ』

と書いてある。」<sup>12</sup> そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。

他の朗読：創世記 2:7～9, 3:1～7 詩編 51:3～6, 12～14, 17 ローマ 5:12～19

## Lectio …読む

今日読む出来事は、イエスの公生涯の中では早い段階で起こり、1節が明確にしているように、神の支配の下で起こったことです。

聖霊はイエスを神の使命へ、すなわち荒れ野へと導きます。イエスはそこに40日間いて、昼も夜も断食します。旧約聖書では40という数字は準備のときとして重要です。それはモーセのシナイ山での断食(出エジプト34章28節)とイスラエル人が約束の地に入るのに40年間荒れ野で待ったことを思い出させます(申命記8章2、3節、29章5、6節)。

マタイは3つの具体的な誘惑だけを語っています。最初に、イエスに肉体的な必要性を満たし神的能力を用いるように誘惑します。イエスは私たちと同じものとなって、人はパンだけで生きるものではない、と悪魔を拒絶します。これは明らかに、私たちは神からの「霊的な食べ物」も必要としている、ということです。

次に悪魔は、神がイエスを救うために天使たちを遣わすに違いないから、神殿から飛び降りることによってイエスの神性を証明するようにと誘惑します。

最後に悪魔は、もし自分にひれ伏すならばすべての国々を与えよう、とイエスに申し出ます。イエスは真に人々を悪魔の支配から解放するためにやってきましたが、このような方法を用いてではありません。

この3つの例は、あらゆる誘惑の根源を示しています。あらゆる誘惑の根源とは、神を差し置いて自分だけの力に頼り、神を二の次にして、神なしで世界を正しくしようとする欲望です。

悪魔のずる賢い欺きも、悪魔が聖書からの引用をそのまま使ってさえも、イエスには通用しません

(詩編 91 編 11、12 節)。イエスは同様に聖書の引用を用いて、あらゆる誘惑を拒絶します。申命記 8 章 3 節、6 章 16 節、6 章 13 節から次々に引用します。聖書の一部の真の解釈は聖書全体と矛盾があってはなりません。

全ての誘惑の本質は、物事を行うのに、神の方法よりも魅力的な代替案があるということです。そしてこの時のイエスにも今の私たちにも同じようにあてはまります。

## Meditatio …黙想する

悪魔の誘惑に打ち克つために、イエスを助けたものは何でしょうか。私たちが直面する誘惑に打ち克つ助けとして、どんな教訓を学ぶことができますか。

イエスが 4 節で引用した、申命記 8 章 3 節は何を意味していると思いますか。神の世界を、毎日の食べ物の重要な一部であると考えますか。どうしたら神の世界の中であなたを養ってもらえるのでしょうか。

あなたが直面した日々の誘惑は何ですか。

## Oratio …祈る

「神よ、わたしの内に清い心を創造し

新しく確かな霊を授けてください。

御救いの喜びを再びわたしに味わわせ

自由の霊によって支えてください」(詩編 51 編 12、14 節)

詩編 51 編は、悔い改めのとき神の前に出て赦しを願う 1 つの方法を提供しています。この箇所全部を読んで、あなたの祈りが神に届くよう願いましょう。

## Contemplatio…観想する

四旬節のこの時期を過ごすにあたり、救われた者の生き方を喜ぶことができるように、私たちは十字架上のイエスの罪の克服を待ち望みます。次のローマ 5 章 15、17 節からの素晴らしい言葉を黙想しましょう。

「しかし、恵みの賜物は罪とは比較になりません。…神の恵みと義の賜物とを豊かに受けている人は、一人のイエス・キリストを通して生き、支配するようになるのです。」